

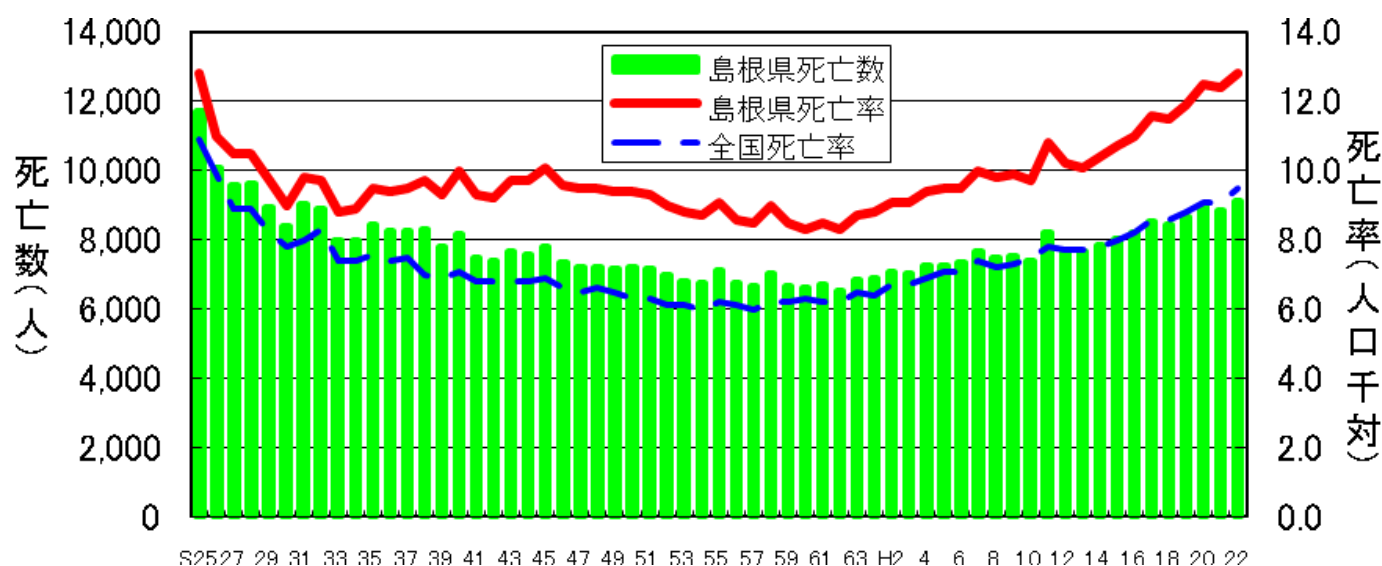
3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成 22 年の死亡数は 9,109 人で、前年の 8,854 人より 255 人増加し、死亡率（人口千対）は 12.8 で、前年の 12.4 より 0.4 上昇した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下していったが昭和 30 年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和 63 年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、上昇の傾向をたどり続けている（図 4）。

図 4 死亡数・死亡率の年次推移



年齢階級別に死亡率（人口 10 万対）をみると、0～4 歳、10～24 歳の各階級、45～49 歳、65～74 歳の各階級、及び 80 歳以上が前年より増加した。特に 80 歳以上の増加が著しい。

死亡率性比（男性の死亡率／女性の死亡率×100）を年齢階級別にみると、5～9 歳を除くすべての年齢階級において 100 以上となっており、男性の死亡率が高いことを示している（表 4）。

表 4 年齢（5歳階級）別死亡数・死亡率（人口 10 万対）・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	平成 22 年	平成 21 年	対前年増減	平成 22 年	平成 21 年	対前年増減	
総数	9,109	8,854	255	1,275.8	1,238.3	37.5	113.3
0～4	19	13	6	65.5	44.8	20.7	160.0
5～9	5	6	△ 1	16.1	19.4	△ 3.3	62.5
10～14	4	－	4	13	－	13	281.1
15～19	10	8	2	31.3	24.2	7.1	900.0
20～24	20	11	9	57.1	33.3	23.8	141.7
25～29	18	24	△ 6	60.0	75.0	△ 15.0	349.9
30～34	27	29	△ 2	69.2	70.7	△ 1.5	271.4
35～39	32	33	△ 1	72.7	76.7	△ 4.0	166.7
40～44	39	67	△ 28	102.6	176.3	△ 73.7	333.3
45～49	83	74	9	207.5	180.5	27.0	219.2
50～54	109	129	△ 20	242.2	280.4	△ 38.2	158.6
55～59	237	276	△ 39	455.8	501.8	△ 46.0	225.1
60～64	384	357	27	640.0	649.1	△ 9.1	280.2
65～69	453	440	13	1,006.7	956.5	50.2	263.6
70～74	644	659	△ 15	1,497.7	1,464.4	33.3	240.1
75～79	1,145	1,145	0	2,489.1	2,544.4	△ 55.3	242.5
80～	5,880	5,583	297	7,945.9	7,754.2	191.7	149.3

注：死亡率性比＝男性の死亡率／女性の死亡率×100

（２）死因

①死因順位

平成 22 年の死亡数を死因順位別に見ると、第 1 位は悪性新生物で 2,488 人（人口 10 万対死亡率 348.9）、第 2 位は心疾患で 1,523 人（死亡率 213.6）、第 3 位は脳血管疾患で 966 人（死亡率 135.5）となっている（表 5）。なお、全国の死因も同様の順位となっている。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物による死亡率は上昇を続け、昭和 59 年以降、死亡原因の第 1 位となった。心疾患は平成 12 年に死亡原因第 2 位となって以降、死亡率は上昇を続けている。脳血管疾患の死亡率は、平成 12 年以降、概ね横ばいで推移している。老衰はほぼ横ばいに推移していたが、平成 19 年から 4 年連続で上昇している（図 5）。

また、死因別の死亡率を都道府県ごとに見た場合、悪性新生物（全国第 3 位）、

心疾患（全国第 3 位）及び老衰（全国第 1 位）では高い水準を示している。

図 5 主要死因の死亡率の年次推移

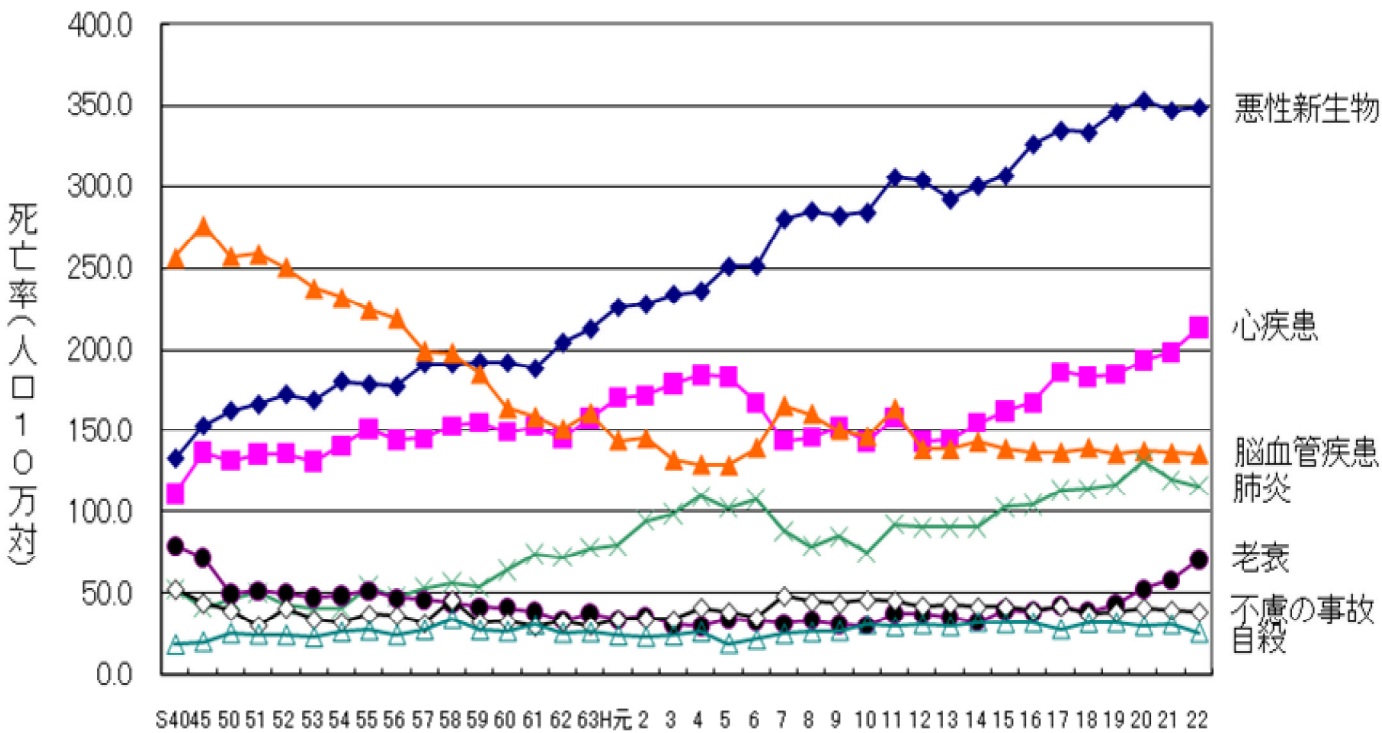


表 5 死亡数・死亡率（人口 10 万対）・死因順位；性別

死 因	平成 22 年									平成 21 年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物	1	2,488	348.9	1	1,481	435.6	1	1,007	270.0	1	2,481	347.0
心疾患（高血圧性を除く）	2	1,523	213.6	2	679	199.7	2	844	226.3	2	1,421	198.7
脳血管疾患	3	966	135.5	4	435	127.9	3	531	142.4	3	973	136.1
肺炎	4	827	116.0	3	449	132.1	5	378	101.3	4	854	119.4
老衰	5	505	70.8	7	124	36.5	4	381	102.1	5	417	58.3
不慮の事故	6	277	38.8	5	142	41.8	6	135	36.2	6	284	39.7
自殺	7	184	25.8	6	136	40.0	11	48	12.9	7	221	30.9
腎不全	8	174	24.4	9	93	27.4	7	81	21.7	8	169	23.6
慢性閉塞性肺疾患	9	137	19.2	8	105	30.9	15	32	8.6	9	113	15.8
肝疾患	10	89	12.5	11	59	17.4	17	30	8.0	10	108	15.1

注：総数の 10 位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数 126・死亡率 17.7 である。

男性の 10 位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数 61・死亡率 17.9 である。

女性の 8 位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数 65・死亡率 17.4 である。

女性の 9 位は「糖尿病」で死亡数 52・死亡率 13.9 である。

女性の 10 位は「血管性及び詳細不明の認知症」で死亡数 51・死亡率 13.7 である。

②年齢別死因

平成 22 年の死因を性・年齢（5 歳階級）別構成割合から見ると、15～19 歳、20 歳代から 40 歳代前半までは自殺の占める割合が高く、30 歳代からは男性の割合が高くなっている。また、死因順位第 1 位の悪性新生物の占める割合は、男性は 40 歳代から増加し 60 歳代で最も高く、女性では 35 歳代から増加し、55 歳～64 歳の年齢階級が最も高くなっている（図 6）。

図6－1 性・年齢(5歳階級)別に見た主な死因の構成割合(男性)

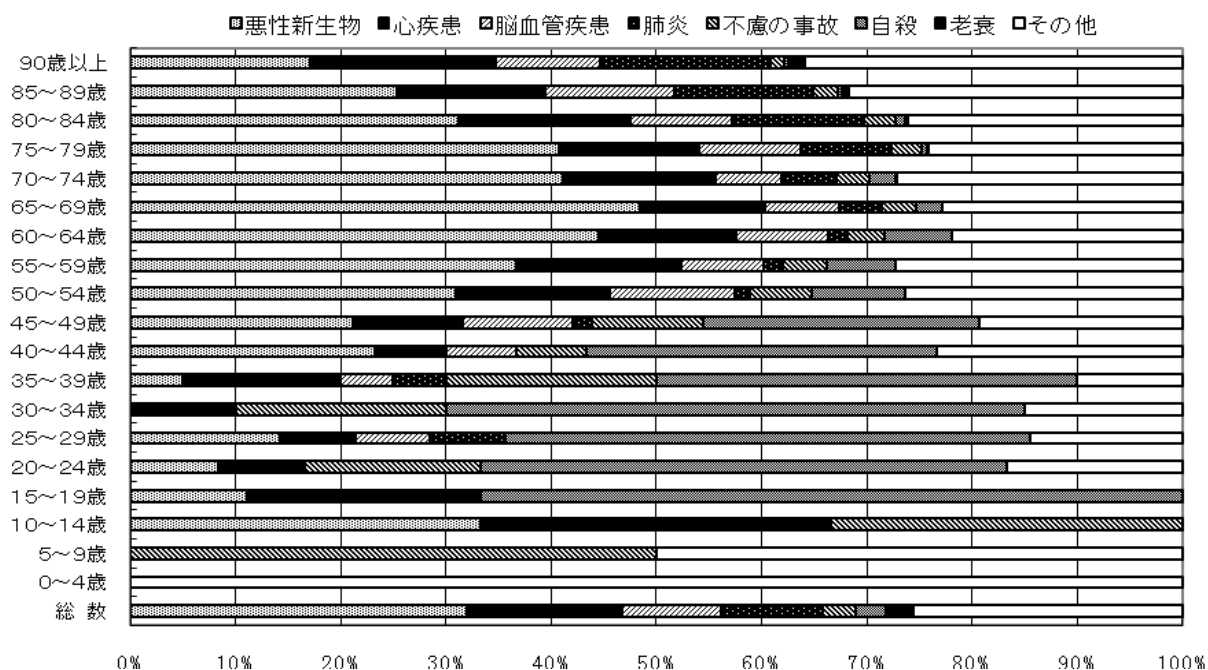
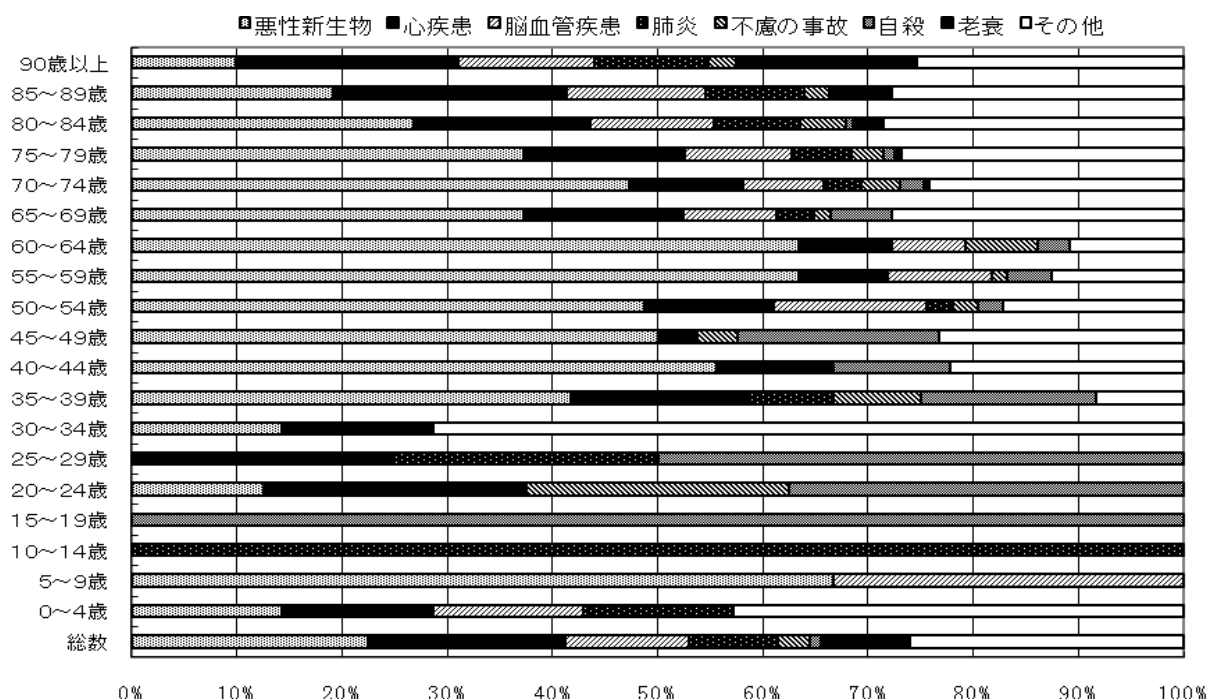


図6－2 性・年齢(5歳階級)別に見た主な死因の構成割合(女性)



③部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率を主な部位別に見ると、男性は肺が下降しているが、女性では、逆に肺が上昇傾向にある(表6、図7)。

表6 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率(人口10万対)の年次推移

部位	S30	40	50	60	H8	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
死亡数																		
【男性】																		
胃	250	314	293	273	263	255	252	267	216	243	230	233	230	206	250	231	251	227
肺	19	61	82	169	250	273	292	299	272	288	282	341	363	316	358	331	308	301
肝	54	55	65	121	206	194	182	208	182	164	181	179	191	173	174	165	168	173
大腸*	23	42	48	79	151	155	175	163	138	142	155	139	164	160	136	183	162	168
【女性】																		
胃	165	179	202	149	159	134	138	137	145	153	153	150	152	125	149	146	158	137
肺	8	18	32	52	109	90	93	98	110	112	91	91	107	124	113	124	119	123
肝	37	33	35	55	89	80	93	99	85	100	76	96	90	80	89	100	83	88
乳房	18	16	25	28	38	38	54	43	55	53	56	74	54	71	69	60	64	65
子宮	93	71	57	40	38	27	34	25	24	31	31	26	21	31	33	38	17	36
大腸*	30	44	48	85	123	124	133	125	129	125	150	139	150	165	146	168	146	140
死亡率																		
【男性】																		
胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	70.1	69.4	73.7	59.7	67.5	64.2	65.4	65.2	59.0	72.3	67.3	73.6	66.8
肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	75.0	80.4	82.6	75.1	80.0	78.8	95.8	102.8	90.5	103.5	96.5	90.3	88.5
肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	53.3	50.1	57.4	50.3	45.6	50.6	50.3	54.1	49.6	50.3	48.1	49.3	50.9
大腸*	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	42.6	48.2	45.0	38.1	39.4	43.3	39.0	46.5	45.8	39.3	53.4	47.5	49.4
【女性】																		
胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	33.7	34.8	34.7	36.8	38.9	39.1	38.6	39.3	32.6	39.2	38.7	42.2	36.7
肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	22.6	23.4	24.8	27.9	28.5	23.3	23.4	27.6	32.4	29.7	32.9	31.8	33.0
肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	22.6	23.4	25.1	21.6	25.4	19.4	24.7	23.3	20.9	23.4	26.5	22.2	23.6
乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	9.5	13.6	10.9	14.0	13.5	14.3	19.0	14.0	18.5	18.2	15.9	17.1	17.4
子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	6.8	8.6	6.3	6.1	7.9	7.9	6.7	5.4	8.1	8.7	10.1	4.5	9.7
大腸*	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	31.2	33.5	31.7	32.7	31.8	38.4	35.7	38.8	43.1	38.4	44.6	39.0	37.5

注: 大腸の悪性新生物は、結腸と直腸 S 状結腸移行部及び直腸を示す。

ただし、昭和 40 年は十二指腸と小腸を含み、昭和 50 年は肛門を含む。

図 7-1 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(男性)

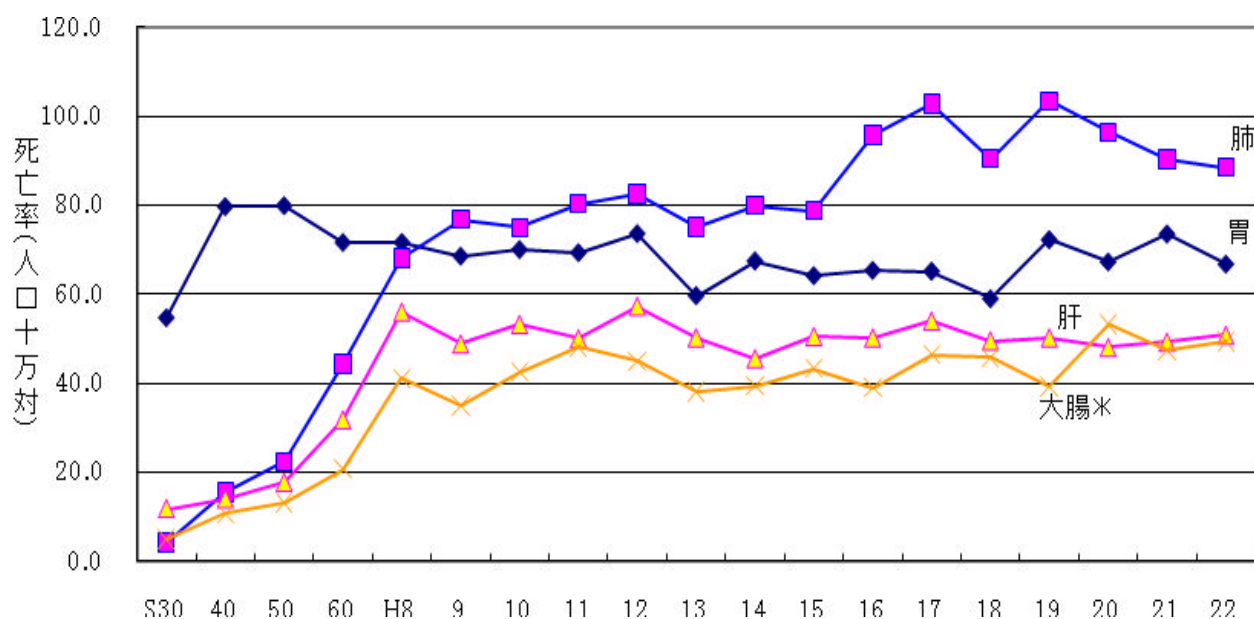


図 7-2 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(女性)

